

# 一般質問



志賀 恒男 議員

## 問 県道蒲碧線の地権者説明会は

## 答 おこなう時期に来てしていると認識

上六栗地内の県道蒲碧南線の道路拡幅の検討がすすんでいる。

**問** 平成24年8月の地権者説明会以降の対応は。

**答** **建設部長** 実測交通量に基づき、道路企画の見直しで、幅員縮小案を検討。歩道を両側設置する案で検討中。

**問** 平成26年に、国道23号バイパス荻谷ICと蒲郡IC間が開通。交通量の変化は。

**答** 開通前が、1日に8693台、平成26年の調査は、4910台で、結果44%減少した。

**問** 測量の結果、移転が予想される家屋の数は。

**答** 中心線の決定が終わって数軒ある。

**問** 推定される概算の工事費用は。

**答** 予備設計の段階では、正確な数字がなく、数億程度になる見込み。



すれ違いが困難な県道蒲碧南線

**問** 次に開催される地権者説明会の予定は。

**答** 計画の変更や設計の修正で、地元説明会をおこなう時期に来ていると認識。

**問** 県の予算ではあるが、交渉する町としてのスケジュールの要望・考えは。

**答** 早期事業化は、重要箇所の一つとして、継続的に要望している。

**問** 女性起業支援の数値目標は

**答** 平成33年までに2件

の利便性が向上されるべき。次は自動運転バスの実験を。

**答** 普通車で実施して、まずは、事故を起こさず安全に実証実験が第一で、バスはその先と考える。

**問** 豊坂に建設される多世代交流児童館。女性の起業支援の数値目標は。

**答** **住民子ども部長** 平成33年までに2件。

**問** 複合的な起業支援の検討を。

**答** 他部門と調整して、支援計画を考えたい。

**問** 桐山と六栗間の広田川堤防が緑道整備された。幸田駅西口までの残り200mの完成は。

**答** **建設部長** 平成32年度までに、六栗の市街地から駅西間を、自然散策型の道として、事業化を検討。

# 一般質問



水野 千代子 議員

## 問 「手話言語条例」の制定を

### 答 早い時期に制定の方向で考える



「福祉ボランティアまつり」で手話を教える

**問** 平成23年7月「改正障害者基本法」が成立し、日本で初めて手話が言語として認められた。手話を言語と位置づけ、普及を促す「手話言語条例」の制定が全国の自治体で広がっている。全国・県内の現況は。

**答**（健康福祉部長） 全国では95自治体。内訳は県が12、市が74、町が9。

**問** 県内はゼロだが、常滑市が検討中。

**問** 手話が必要としている人は何人。

**答** 聴覚の障がい123人、聴覚と言語の障がい11人で合計134人。

**問** 本町職員の手話通訳者の仕事範囲は。

**答** 福祉課の窓口対応や庁舎内、保健センター、社会福祉協議会、中央公民

館にも出向く。

**問** 保育園で手話に親しむ機会を。

**答**（住民こども部長） 今後、開催を検討。

**問** 学校で手話を学ぶ機会はあるか。

**答**（教育部長） 年1回の福祉実践教室や南部中学校の年4回の手話講座など広がりを見せている。

**問** 手話を日常的に使い、普及できる幸田町を目指すため「手話言語条例」の制定を。

**答**（町長） 早い時期に制定する方向で考える。

から以下を問う。

**問** 乳がん検診の周知・取り組みは。

**答**（健康福祉部長） 毎年2月に人間ドック、がん検診のチラシと申込書を全戸配布。

乳がん検診は、無料クーポン券を40歳女性に個別通知している。

**問** 乳がん検診の受診率と罹患率は。

**答** 40歳以上の受診率は14・5%。愛知県の罹患率は73・7、全国は83・1。

**問** 若い世代にも乳がん検診に関心を持ってもらえるように、お風呂場のタイルに貼り付ける乳がんチェックシートの導入を。

**答** 乳がん検診受診者に自己検診のチェックリストを配布中。水にぬれても大丈夫なチェックシートを、検診会場や保健センターで自由に持ち帰る形で検討する。

**問** 乳がんチェックシートの導入を

**答** 自由に持ち帰る形で検討する

乳がんは、がんの中でも日本女性の罹患率※がトップであり、若い年齢層にも増加している。早期発見には触診法が一番であること

※罹患率  
人口10万人当りの疾病発生件数